クリスチャンライフ学院・シラバス

年度・学期	2026 年度・冬学期	単位	2
科目コード	M26W04		
分野・科目名	霊性の神学　「クリスチャン・メンタリング」		
講義日程	木曜日　1/7・1/14・1/21・1/28・2/4・2/18・2/25・3/4		
講師	島田　哲也		

講義の概要	キリスト教の伝統において、人間の回復は、三位一体の神の交わりに迎えられることで始まる。クリスチャン・メンターは、その道程に既におり、続く者がキリストによって「生きる」ために寄り添う人。つまり、クリスチャン・メンタリングとは歴史の中に連綿と続く神の国の働きそのものである。そんなメンターの姿を、聖書の中に、そして主イエスキリストとそこから始まる教会の歩みに尋ねつつ、２１世紀を歩む私たちが福音宣教・伝道に関わる際の指針を探る機会としたい。
第 1 回	メンタリング序論（クリスチャン・メンタリング？） ＊オリエンテーション、自己紹介（必要に応じて）
第 2 回	聖書の表す世界観・人間観 ＊旧新約聖書
第 3 回	旧約聖書とメンタリング１ ＊旧約聖書、神との友情４−５章
第 4 回	旧約聖書とメンタリング２ ＊旧約聖書、神との友情４−５章 ＊課題（１）のクラス内での分かち合い
第 5 回	新約聖書とメンタリング１ ＊福音書、神との友情６−９章
第 6 回	新約聖書とメンタリング２ ＊福音書、神との友情６−９章
第 7 回	神に触れられた人々 ＊新約聖書、神との友情１０−１２章
第 8 回	弟子たちから次の弟子たちへ ＊神との友情１０−１２章
目標	1)　メンタリングという概念を掴み、クリスチャンとしてのメンタリングについて理解する。 2)　クリスチャン・メンタリングについて聖書的歴史的認識を深める。 3)　教会とメンタリングの関わりを理解する。 4)　これまでの歩みを振り返り、そこにどの様な人々からどの様な影響を受けてきたか、自分自身の人間形成のストーリーを綴ること

	で、自己理解を深める。 5) 本コースを通して学んだメンタリングのあり方に照らして、自分自身の行ってきた働きや、関係性を評価し、考察する。

【課題】

（1） リフレクション１（自己の形成）：メンタリングという観点で、これまでの自分の歩みを振り返り、どの様な人たち（そしてその人たちとの関わり）を通して自分がどの様な影響を受けたか──特に、そうした影響から生まれたと思われる、他者に対する関わり方の傾向について考察しそれを言語化する。（１２００字）

（2） リフレクション２（クリスチャン・メンタリング）：本コースで学んだクリスチャン・メンタリングの観点に立ち（必須：コースで用いた参考文献の引用）、課題１で確認した自分の持つ他者に対する関わり方の傾向が、相手にどの様な影響を与えたか、また福音宣教・伝道に対してはそれがどの様な成果をもたらしたか、可能な限り分析・言語化する。その上で、これからクリスチャン・メンターとして周囲の方々に関わっていくときに大切にしたい（前提とし、心がける必要を覚えている）ことについて明文化する。（２４００字）

（3） エンゲージメント：講義の中で質問をしたり、上記課題に関するクラス内での分かち合い・質問・議論を交わしたりして、ご自身やクラス全体の理解を深めるプロセスに前向きに関わる。

【成績】

２５％：エンゲージメント

２５％：リフレクション１（自己の形成）

５０％：リフレクション２（クリスチャン・メンタリング）

＊課題の文字数について：規定字数の±１０％を超えた場合は減点対象とする。

【課題図書】

- ジェームズ・フーストン著、坂野慧吉監修「神との友情：あなたを変える祈り」（いのちのことば社、１９９９）
- その他、読んで頂きたい各種資料は講義に先立ち配布する。